

留学の地で起業したテクノロジー・ベンチャー、VC投資を受けてさらなる発展を目指す

株式会社 ビジョンマルチメディアテクノロジー

株式会社ビジョンマルチメディアテクノロジーは、インド人研究者が立ち上げた、フレキシブルディスプレイの技術開発・製品開発を行うベンチャーである。

クリエイション・コア福岡入居後は、隣接する公設試験研究機関の分析装置を活用したり、IMや中小機構九州支部のサポートも受けたりしながら、事業を拡大してきた。

VCから投資も受け、2014年の株式公開を目指している。

1. 企業概要

- 入居BI名: クリエイション・コア福岡
- 企業名: 株式会社ビジョンマルチメディアテクノロジー
- 業種: 電気・機械機器製造業
- 所在地: [本社] 〒818-0041 福岡県筑紫野市上古賀3-2-16
クリエイション・コア福岡106、204号室
- 代表: クマール・ラジェッシュ (Kumar Rajesh)
- 資本金: 9,992万円
- 設立: 2002年7月
- 売上高: 7,100万円(2010年3月期)
- 従業員: 9名
- 事業内容: マルチメディア関連製品の開発・製造・販売



調光フィルム(電子ブラインド)事業

電圧を加えることによって透明な状態と不透明な状態を作ることのできる液晶調光フィルム(電子ブラインド)の開発を行う事業
用途・・・オフィスの仕切り、病院の新生児室、住宅の窓ほか

マルチメディアディスプレイ事業

電子ペーパー・デジタルサイネージ(digital signage: 電子看板)の開発を行う事業
用途・・・電子看板、電子辞書ほか

■ URL: <http://www.vmt-jp.com>

2. なぜ、入居したのか?

クマール氏は、九州大学に1年半研究員として派遣後、一度帰国し、1998年から(財)福岡県産業・科学技術振興財団にて、地域結集型共同研究プロジェクトに参画していた。約4年半、フレキシブルディスプレイの開発に携わった成果をもとに、2002年、福岡市内で起業した。福岡で起業したのは、大学・財団時代のネットワークが活かせるためであった。また、レベルの高い部品・技術を提供して貰えるものづくり企業が多く存在することが、日本で起業したポイントになっている。

クリエイション・コア福岡には、2006年9月より入居している。試作・開発拠点を求めていたこと、隣接する福岡県工業技術センターの分析機器を活用できることから、入居を決めた。現在は、福岡市内から本社機能を集約している。

3. どのような課題を抱えていたのか?

設立当初より、受託試作開発や技術コンサルティングをしながら、開発を続けていた。2007年に基盤技術の特許を取得し、2009年には自社製品を発売した。しかし、ベンチャー企業ゆえにブランド力は弱く、販路拡大には、積極的なPRを必要としていた。

4. どのような支援を行ってきたのか? その成果は?

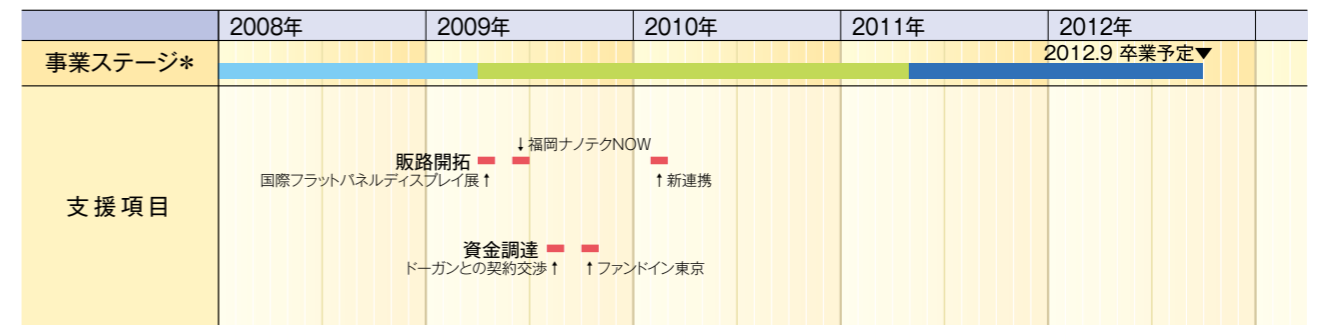
同社の製品は、「目で見て良さを実感してもらうのが一番効果的」との意識を共有し、PRのためのサンプル製作、営業人

員の確保をしていくことにした。そのためには資金調達が必要であり、クリエイション・コア福岡IM、九州支部の職員・専門家が一丸となって、資本政策を立案した。資金調達は、ベンチャーキャピタル(VC)からの投資を軸に、短期資金は公的融資制度を活用していただいた。

VCから投資を受けるには、同社の技術・経営を知ってもらうことが必要であった。そこで、VCに同社の技術を分かりやすく説明し、将来の経営計画を明確に示せるよう、プレゼンテーションを磨き上げていった。「ベンチャープラザ ファンド in Tokyo」など、多数のVCが集まる場を活用し、積極的にプレゼンテーションを重ねた結果、VCから投資を受けることができた。その結果、営業人員も確保できた。

クマール氏の積極的な姿勢もあり、興味を持ったVCが同社を訪れる機会も増えた。2010年8月には、さらに投資を受け、営業体制・研究開発体制を強化している。

販路開拓先へのプレゼンテーションも、あわせて磨き上げていった。展示会出展も活用し、大手企業との契約成立に至っている。



* ■ 研究開発段階 ■ 初期販売段階(試作品、サンプル出荷) ■ 事業化(断続的売上) ■ 事業化(安定的売上) / ■ これまでの履歴 ■ これからの計画

5. 今後、どのような支援を行っていくのか?

今後の課題は、研究開発や品質管理を担える、優秀な若手人材の確保である。さらに、同社は海外展開のペースをつくっているところでもある。技術開発では、既にインドの企業や韓国の研究機関と連携しているが、製品や技術の売り先も、海外展開していく。課題解決・将来ビジョンの実現を、今後もサポートしていく。

これまでのお付き合いから、同社から中小機構には厚い信頼をいただいている。信頼を裏切らないよう、より一層の成長をお手伝いしたい。

6. 代表の声

ビジョンマルチメディアテクノロジーは、自社のコア技術を利用して様々なフレキシブルな新製品を開発しています。

現在、エコ製品となる電子ブラインドを開発・実用化いたしました。また、フレキシブルで省エネとなるディスプレイの開発もしております。

弊社はチームワークとパートナーシップを確立し、皆様に革新的でより良いデザインの製品を経済的な価格で提供していきたいと思っております。



株式会社ビジョンマルチメディアテクノロジー クマール社長

BI紹介 クリエイション・コア福岡

福岡県筑紫野市。福岡都市圏の経済活力を未来の新事業に結び付けることを目的に、2001年3月にオープンした。電気・電子機器、ソフトウェア、化粧品など、さまざまな分野の企業が入居している。

福岡県、筑紫野市をはじめ、地元の支援機関と連携したBI運営をしている。入居企業が抱える研究・開発の課題には、隣接する福岡県工業技術センターから、技術相談や分析機器の利用、共同研究などのサポートが受けられる。経営課題には、IMのみならず、地理的にも近い中小機構九州支部によるサポートを受けられることも強みである。

財務、法務、組織体制などをテーマにしたセミナーも、定期的開催している。入居企業のみならず多数の方々気軽に参加していただき、好評を得ている。